

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 022	提案機関名 県央家畜保健衛生所
要望問題名 乳用子牛の飼養管理方法の改善による乳生産性の向上	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 乳用牛の哺育・育成期の飼養管理は、その後の乳量や生涯成績等に影響を及ぼすと考えられており、各農家は日々工夫を重ねている。 そこで、哺育・育成牛を対象に、初乳の給与条件や哺育期の粗飼料給与等が子牛の発育に及ぼす影響を調査し、さらにその後の乳生産能力を追跡調査していくことで、哺育・育成期の飼養管理が乳生産性に及ぼす影響を明らかにし、乳生産能力を向上させるために哺育・育成期の飼養管理技術を改善していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 子牛の健全性を高める哺育管理技術の開発		
対応の内容等	要望の課題については、畜産草地研究所及び信州大学、6県（千葉県、埼玉県、山梨県、岐阜県、富山県、石川県）及び民間企業との共同試験により、子牛の健全性を高める固形飼料、給与時期・方法について検討していく予定です。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			